調停破裂か

大市長案に滿足せず

一種の策戰で全員就業?

神戸三菱造船所三工場の爭議團が騒ぎは解決の端に近づきつゝ今や最後の大詰を待つのみとなつてゐる事は既報の如くであるが有吉兵庫縣知事、櫻井神戸市長が雙方の間に立つて調停の努力を試みべく決意を決した後七日夜櫻井市長は職工側代表者七名と再度會見、市長としての調停案を内示し職工側の考慮を促し右の市長案を携へて爭議本部に引揚げた代表者等は八日朝來幹部會を開き種々協議の結果、職工側の意見としては、飽迄今井辯護士が雙方の間に立廻つた際に於て本月三日會社側へ提示の最少限度の同盟罷業者の條件が[illegible]

此から認められてゐたに初ら事態に市長から提示の案は當然な事であつてソレを承諾しては職工が困窮に陷るやうな事になるから一應市長の調停をお斷りするより外ないと云ふに決し尚は市長が此の上再考を促した場合には八日午後五時まで回答すべく内決し午後二時、職工の代表者二十餘名は神戸市役所市長室に櫻井市長を訪問、第二次の意見を述べた其の結果は本格的の妥協には至らなかつたが職工側の代表が上記の如くなるに對し市長も此上自己の提案を讓歩するものの調停的提案は到底見込みがないとの意見を持ち合はせ結局は一時調停破裂の状態となるべく若し愈々破裂せば疲弊困憊の極に達せる職工側は飽迄一應盛に初めの要求の一部を一時留保して一先づ全員就業を作業し一旦工場に入つて徐に時機を待ち戰へ一種の策略に出るものと見られてゐる(午後三時半)

三菱川崎の爭議團

無條件就業に決す

「局面展開のため本日から全員就業」との通知

神戸三菱、川崎兩爭議團が無條件で九日から就業する事に決した旨を告げた通知は四十餘日目で茲に外所報の通りである

神戸三菱爭議團の提出した要求條件はタ刊所報の通り調停に立つた櫻井神戸市長の調停條件と職工から市長の會見をこ到底之を容れる餘地なき爲め職工委員十名と會見し九日から就業する事となつた

職工各部は一方四十餘日間川崎爭議團と同一步調を共にした幹部會を開いた結果就業を承認した

爭議團本部では局面展開のために九日より全員就業す但し理由は九日發表すといふ通知を各方面に配布した

二一、三菱では職工の一部は私共とは違つて工場を持つて所るのだから明言は出來ないが職工との會見に於て[illegible]した通りおそらく持つて居るが職工は出勤しても宜しいといふのであるがサウさは思ふが若しソレ以上あればソレには又何かの態度をとらねばならぬことになるでせう云々

久留氏檢事局へ押送

取調べ一段落か

神戸の勞働爭議に關し去月二十九日夜湊川署に引致された久留弘三氏はその後各署に轉送取調中であつたが六日再び湊川署に轉送され七日午後四時に至り取調の一段落を告げたものか檢事局に押送された

怠業でもする積りなら

又別に處置を執らう

兩會社側代表者の意見

右に就き神戸三菱造船所長は曰く職工全部が工場へ復歸するといふのなれば初めから堅明して居つた通り非常に結構なことです會社はかねてから此事を望んでゐたのですから職工の此の誠意さへ續いて呉れますれば一通り聲明した通りの工場委員制度實施其他何れも適當の時機を見て職工の福利増進のためにも盡す考はありましたが何時までもこんな事態を續けて行くことは社會に對しても誠に濟まぬ譯で果して右の樣な心で職工全部が決心して所れば何も問題はありません、萬一出勤して誠意のないやうな態度を持するものがあれば又別問題ですが恐らくソンなことはありますまい云々

又川崎造船所永留庶務課長は曰く歸つて來るなら問題はない初めから私共のいふ通り社長の方針に從つて出勤することを待つてゐるのであります

就業勸説の

主誠團活躍

三菱造船所職工の一部は主誠團なるものを設け自分の意思に反して罷工を継續して居る者を勸説し出勤せしむべく努めつゝあるが川崎造船所内にも今回主誠團の組織成り職工が他の迫害によつて罷工を餘儀なくされ家族と共に悲惨なる境遇に陷ることの愚なるを説き職工の就業運動に努力することになつた其の團體の力も相當に強いといつてゐる

反對ならば

調停打切

櫻井市長の決心

八日午後二時から神戸市役所で櫻井市長と職工代表の會見が開かれる事になり市長の手許へ事件が移つたが如何なる案を示すかといふ事が問題であつた[illegible]市長は職工の側に立つて調停に對しては滿足せぬのであれば市長の調停を打切る外ないとの[illegible]

會見は五時?

[illegible]

就業者増加

八百七十四人で休業者は一千五百六十三人を增し三菱は総計一千九百二十七名、三菱の職工總數は四千七百二人、川崎は三百六十九人を增加した

久留氏檢監

騷擾と治警違反

七日午後一時過ぎ湊川署から神戸檢事局に押送された久留弘三氏は同十時過ぎ武藤檢事から嚴重な取調を受けた後騷擾罪と治安警察法違反とで起訴された、これより先午後七時過ぎ檢事局に出頭した同氏夫人は久留氏に面會を許され又川崎造船所に於ける引續き取調を行つた